

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート							No.	26-5																																						
PDCA	主要事業名	民間住宅耐震事業	部課名	建設部建築課		担当 内線	竹内 464																																							
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 1 - 1 単位施策： 防災・減災																																													
	全体事業期間： 令和 3 年度 全体事業費等： 32,002 千円																																													
	会計 一般会計 歳出科目 07.06.01.10.50																																													
	3か年実施計画（当該年度事業費等）： 32,100 千円																																													
	事業概要等	事業概要： 昭和56年以前に建築された民間建築物に対し、大地震に備える耐震化を図るために、木造住宅の無料耐震診断や耐震改修補助等を行う。また、減災に向けた取組として、耐震シェルター等の設置補助を行う。																																												
		事業目的： 昭和56年以前に建築された旧耐震基準の住宅・建築物の耐震化を促進する。																																												
		事業内容： 旧耐震基準の建築物の診断・改修・耐震シェルター等に対し補助を行い、耐震化を図る。																																												
		問題点・課題等： 耐震診断実施から耐震改修やシェルター等設置の補助利用につながらない現状にある。																																												
	予算額	主要事業とする理由																																												
	32,002 千円																																													
	財源内訳	南海トラフ地震を想定した防災・減災対策が求められているため。																																												
	市費	得られる成果																																												
	9,868 千円																																													
	国費	建築物の耐震改修が進むことで、予想される大地震への不安が軽減される。																																												
	12,600 千円																																													
	県費	目標値や目指すべき状態																																												
	6,242 千円	<table><tr><td></td><td></td><td>令和元年度</td><td>令和2年度</td><td>令和3年度</td><td>単位</td></tr><tr><td rowspan="2">木造住宅無料耐震診断件数</td><td>実績値</td><td>179</td><td>124</td><td>—</td><td>件</td></tr><tr><td>目標値</td><td>100</td><td>170</td><td>100</td><td>件</td></tr><tr><td rowspan="2">住宅耐震改修補助件数</td><td>実績値</td><td>20</td><td>15</td><td>—</td><td>件</td></tr><tr><td>目標値</td><td>22</td><td>20</td><td>19</td><td>件</td></tr><tr><td rowspan="2">耐震シェルター・防災ベッド設置件数</td><td>実績値</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td><td>件</td></tr><tr><td>目標値</td><td>4</td><td>2</td><td>1</td><td>件</td></tr></table>									令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	木造住宅無料耐震診断件数	実績値	179	124	—	件	目標値	100	170	100	件	住宅耐震改修補助件数	実績値	20	15	—	件	目標値	22	20	19	件	耐震シェルター・防災ベッド設置件数	実績値	0	0	—	件	目標値	4	2	1
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位																																									
木造住宅無料耐震診断件数	実績値	179	124	—	件																																									
	目標値	100	170	100	件																																									
住宅耐震改修補助件数	実績値	20	15	—	件																																									
	目標値	22	20	19	件																																									
耐震シェルター・防災ベッド設置件数	実績値	0	0	—	件																																									
	目標値	4	2	1	件																																									
その他																																														
3,292 千円																																														
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果																																												
	26,170 千円																																													
		無料耐震診断により所有建物の耐震性の不足を把握することが、建物の取り壊し、建て替えにつながっている。また、補助制度の周知により耐震改修へ促すこともできた。																																												
		成果指標																																												
		<table><tr><td></td><td></td><td>令和3年度</td><td>単位</td></tr><tr><td rowspan="2">木造住宅無料耐震診断件数</td><td>実績値</td><td>100</td><td>戸</td></tr><tr><td>目標値</td><td>100</td><td>戸</td></tr><tr><td rowspan="2">住宅耐震改修補助件数</td><td>実績値</td><td>16</td><td>件</td></tr><tr><td>目標値</td><td>19</td><td>件</td></tr><tr><td rowspan="2">耐震シェルター・防災ベッド設置件数</td><td>実績値</td><td>1</td><td>件</td></tr><tr><td>目標値</td><td>1</td><td>件</td></tr></table>									令和3年度	単位	木造住宅無料耐震診断件数	実績値	100	戸	目標値	100	戸	住宅耐震改修補助件数	実績値	16	件	目標値	19	件	耐震シェルター・防災ベッド設置件数	実績値	1	件	目標値	1	件													
			令和3年度	単位																																										
	木造住宅無料耐震診断件数	実績値	100	戸																																										
目標値		100	戸																																											
住宅耐震改修補助件数	実績値	16	件																																											
	目標値	19	件																																											
耐震シェルター・防災ベッド設置件数	実績値	1	件																																											
	目標値	1	件																																											
C 課題の整理	事業の評価・課題	C 「半田市耐震改修促進計画」の更新を行った。今後も継続して耐震化の促進を図る。耐震診断については、自治区と連携した個別訪問を実施し、目標とする木造住宅の診断件数を達成することができた。耐震改修費補助については、取壊し補助の活用が増加していることもあり、目標件数を達成することができなかった。																																												
A 課題の解決に向けた	改善推進																																													
	今後の事業の方向性	自治区と連携した個別訪問による診断・改修・耐震シェルター等の設置の啓発活動を継続して実施していくとともに、詳細設計を行うことにより安価な改修が可能な建物への重点的な周知を新たに行うことで、耐震改修の増加に努める。																																												
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																								
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない																																							
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	⑧受益者負担適正化余地	ない																																							
③休廃止の影響		大きい	⑥類似事業の有無	ない																																										

目標項目（予算計上時に作成）							
予算見積書で活用							
評価項目（決算時に作成）							
主要施策の成果報告書で活用							